

2007年1月29日 フジサンケイビジネスアイ (25面)

「他人同士がつながると、社会的視点が深まる」

ネットベンチャーという言葉も、すでに死語のような気がします。今回お会いした上田祐司さんは、インターネット上でコミュニケーションの運営をする会社を立ち上げた起業家です。24歳のときに、同社を立ち上げ、すでに社歴は7年ですが、いまだ31歳。お話をしてみると、静かで成熟された語りには、驚くばかりです。自ら手がけられるコミュニケーションの仕事。「あかの他人の脳と脳をつなぐ仕事」とおっしゃる上田さん。

代表執行役社長CEO
ガイアックス 上田 祐司さん

が、コミュニケーション。ネットコミュニケーションで、あかの他人同士がつながると、社会的視点が深まる」と上田さんは考えています。手術を控え、不安にさいなまれている人が、ネット

藤沢久美の 未来を拓く 社長の言葉



うことが可能です。今まで知るここのなかつた世界を知り、自分中心の思考から、より広い視野の中で思考することが始まります。一般的に、「ネットを通

じて知らない世界を知る」というと、有害な情報をインターネットする人が多いかもしれませんが、それは豊かな国、日本だからかもしれません。

株主会社ガイアックス 1999年3月設立。2005年7月名古屋セントレックス上場。銘柄コード3775。資本金7億3800万円(06年12月末日現在)。従業員数92人(うち正社員36人、06年12月末日現在)。インターネットコミュニケーションサービス事業。東京都渋谷区。

世の中には、私たちが日々気づくことのないさまざまな人生を送っている人や環境があります。その存在に気づくことが、意識の進化につながります。何か直接的な行動をすることができなくても、意識すること、世の中は変わります。ガイアックスでは、上田さんを中心に20代の若者たちが集まり、日々、コミュニケーション

ネットの運営を通じて、より良い社会づくりに取り組んでいます。利益を上げることも大切ですが、上田さんにとって最も大切なのは、社会を良くするために変えること。ネットの可能性の奥深さを上田さんから教えていただきました。(月曜日に掲載)

